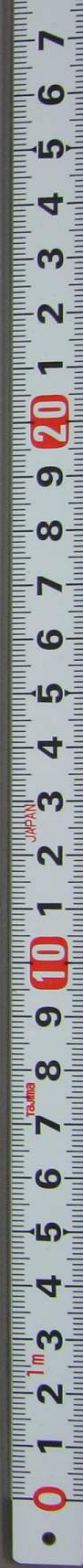


アイゼナク山林学校ノ制

3

1



414
A 4210

アイゼナク山林学校ノ制

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄



第一章 本校設置ノ主意

上管林評議官コニフ氏創メテルラ於テ
之ヲ建設セシカ爾後幾ント二十四年ヲ經一千
八百三十年ニ至リテ遂ニアイゼナクノ一官校
ト為レリ即チ本校ノ主眼トスル所ハ專ラ有能
博識ナル管林官ヲ造ランカ為メナリ

第二章 入学ノ定要

第一節 入学志願者ハ先ツ豫メ普通ノ学科
又遂ケ且ツ別ニ実地ノ業ヲ研究シタル者ニ非
サレハ之ヲ許サズ

其二 往々政府ノ管林職ヲ奉センコトヲ欲シテ
入学ヲ志願スル者ハ之ヲ試験スルニ先ツ世ノ
中学校ノ第一級(即チ第六進級)ニ入ル可ト学力
ノ有無ヲ以テ之ヲ決定ス

其三 志願者ノ実地ノ業ニ就テハ豫メ山林ノ
地方ニ於テ博識ナル管林官ニ從ヒ全ク一年間
之ヲ研究シタル者ヲ要トス

第二節 外國人ニシテ入学ヲ志願スル者ハ唯
單ニ普通ノ豫科ヲ學ビ得タル証書アルヲ以テ
足レリトス

第三節 往々管林官ノ職ヲ志スニ非スシテ單
ニ教授ヲ受ケントスル者ハ何等ノ教科ヲ問ハ
ズ自ラ欲スル所ニ從テ之ヲ選ブヲ得可シ

第三章 学科ノ順序

前章ニ所謂本校ノ主眼トスル所ハ生徒ヲシテ
博ク山林ノ學ヲ修セシムルニ在ルカ故ニ專ラ
本學ノ基本ト為ル可キ諸學ヲ以テ其副科ヲ設

ケ以テ本科ノ輔翼ト為ス左ノ如シ
第一款 副科

第一節 数学 (博士カッセルマン)

[イ] 算術 アルチメティック 幾何学 三角法 ホレゴノメトリ 多角法 ステレオメトリ 量體術

但シ積分法微分法 ステアール 圓形三角法 コニック 圓錐狀截 セグ
分法ハ姑ク之ヲ除ク

第二節 博物物理学 (博士センプトホセウス)

[イ] 化学

但シ礦物学地質学氣帶学ヲ研究スルニ
必要ナル諸元素ノ分離混合ノ理ヲ論ス

ル無機化学ニ植物ノ成生シ百草ノ萌
芽シ土地ノ固形ヲ成ス所以ノ諸元素ヲ
首メトシ凡ソ キルニルニルニル 燒炭職ノ如キ許多山林学
上ノ作為ニ必要ナル諸元素ヲ精細ニ講
究スル有機化学ヲ主トス

[ロ] 物理学

但シ視学色音学ノ如ク山林学上ニ關係
ナキ者ハ之ヲ除ク

[ハ] 氣象学 メテオロヂー 氣帶学

[ニ] 礦物学

但シ岩石及々土塊ノ形状ニテ存スル礦物ニ限ル

〔ホ〕地原論（地質学ノ一派）

〔ヘ〕地質学

〔ト〕植物體成学及々植物生理学

〔チ〕植物本論（即チ植物綱目）

但シ特ニ山林中ノ草木ニ関ス

〔リ〕動物学

但シ特ニ山林中ニ群居スル禽獸羽蟲ノ類ニ主關スル博物論ニ限ル

第二節 経済学及々法律学

〔ハ〕経済学ノ大意

〔ロ〕民法及々刑法

但シツリンゼア諸洲（州）ノ山林律ヲ主トス

第二款

山林学本科（内閣上等管林評

議官ドクトルグレビー）

〔イ〕山林学ノ初歩

〔ロ〕山林ノ歴史

〔ハ〕樹藝及々管理（方）

〔ニ〕山林ノ加護方

〔ホ〕山林調治ノ法

但シ其巨項ヲ掲クル左ノ如シ

〔一〕実地預業

山林ヲ実測スル事 圖ヲ制スルヲ 山林

ヲ各區ニ分ツト 山林ノ税及ヒ其増成シ

タル部分ノ税ヲ^賦課程スルト 同之ヲ示明

スルト

〔三〕実地作業ノ基本

材木ノ類ヲ選ヒ且ツ之ヲ管理スルト

山林伐木ノ年限ヲ定ムルト

〔三〕実地作業ノ雛形ヲ造ルト

〔四〕産物ヲ估價シ且ツ年々之ヲ平均ナラ

シムルト

〔五〕実地作業ノ制式ヲ再訂シ且ツ之ヲ督

理スルト

〔ハ〕山林地ノ估價方

〔ト〕政治~~ノ~~経済~~ノ~~上ヨリ論シタル山林学

〔チ〕管林職ノ制及ヒ山林事務ノ管理方

第三款 学科ノ配附及ヒ学科ノ大意

第二節 抑本校科業ハ耶蘇更生ノ祭日 三月二
十一日

四月二十五日ヲ以テ始期ニシ研究
在テ年々其例ヨリ異ニスヲ以テ始期ニシ研究
二年ニシテ之ヲ卒ル毎歳夏候ハ四月十五日以
後第一ノ月曜日ヲ以テ校ヲ閉キ九月上弦ニシ
テ之ヲ閉チ冬候ハ十月十五日以後第一ノ月曜
日ヲ以テ之ヲ始メ三月中葉頃ニシテ之ヲ終フ
第二節 本校博士数名ヲ置ク即チ左ノ如シ

- イ 校長 林学ノ諸部曲ヲ教授ス
- ロ 化学ヲ教授シ且ツ物理学 気象学ヲ以テ土
地ノ分子ヲ教フル教官一名
- ハ 礦物学 地質学 植物本論 植物骸成 植物生理

動物学 教フル教官一名

- 三 数学 教官一名
- ホ 経済学 法律学ノ教官一名

第三節 学科研究ノ道ヲ分ツル左ノ如シ

- 第一類 教授
- 第二類 試験
- 第三類 実地研業
- 第四類 遊行
- 第一類 附論ス教授ハ必ス之ヲ午前ニ限リ
夏候ハ七時ヨリ九時十時ヨリ十二時迄ヲ限

シ冬候ハ八時ヨリ十二時迄ヲ限ラス
右一週二十四時間ノ中九時或ハ十時間ハ全
ク^山林学ニ役事シ七時或ハ八時間ハ博物理
学ニ役事シ五時或ハ六時間ハ数学ニ役事シ
二時間ハ法律学ニ役事スルナリ而シテ此ニ
掲載スル学科ヲ教フルノ順序左ノ如シ

第一 数学

第一席 算術

第二席 幾何学

第三席 多角法^{メスレーション}測量術

第四席 山林应用数学 (山林測量ノ法、

林木測量ノ学、山林估價ノ法等ナ

第二 博物物理学

第一席 化学、礦物学、及植物学ノ初步

第二席 上進ノ化学、物理学、气象学

第三席 植物学、礦物学ノ続及々土地ノ善

悪論

第四席 植物體成^学 植物生理^学 動物学

第三 経済学及々法律学

第一席 経済学

第二席 全 續

第三席 民法

第四席 刑法

第四 山林学

第一席 山林ノ歴史 樹藝方 山林ノ管

理方及々估價方ニ属スル実地豫

業

第二席 山林ノ持扱及々加護方 一國經

済上ヨリ論シタル山林学

第三席 樹藝方及々山林管理方ノ復舊

第四席 山林(母木等)ノ用法 估價方 管

林職ノ制及々山林事務ノ管理方

右諸学科ヲ教授スルニ教官ハ可力及先哲

ノ憑頼ス可キ著書ニ就テ之ヲ口授シ若又

斯ノ如キノ書ヲケレハ書讀ノ法ヲ用ヒテ

之ヲ口授ス可シ

又第二類ニ附論ス抑試験ハ大ニ進学ノ道ヲ

輔翼スルニ既ニ判然ニシテ鼠モ主ニ要トナル

ニ科ノ趣旨ニ於テハ每週殊ニ一時測ヲ省テ

馬ヲ試驗ニ供^供ス加之各候ノ^ノ子^子ハ更ニ
數時ヲ以テ試驗ニ充ツルナリ
第三類及ク第四類ニ附論ス實地研業及ク遊
行ハ毎日午後二時ヨリ之ヲ行ク須臾モ怠ル
ノ日アルナシ

其二 夏候ノ間ハ毎週四夕ヲ以テ測量術ノ
實驗ニ供ス(即チ初メハ甚夕^{甚夕}管^管ニル測量方
ヲ取リ然ル後三角^{三角}地平等ノ量法ノ演ス此
日若シ天氣善カラサル時ハ講堂ニ於テ右測
量ノ結果ヲ形成セシム(即チ圖ヲ畫シ坪數ノ

計定スル等ノ云フ)
又毎週一夕ヲ以テ山林ノ遊行ニ供ス蓋シ遊
行ヲ為スモ固ヨリ遊散遊樂ノ為メニスルニ
非スシテ必ス特種ノ目的ニ出カルハナシ即
チ概テ遊行ノ間ハ豫テ理上ニテ習フ所ノ管
理方(例ヘハ諸樹木ヲ透カシ植附ヲ為シ種藝
ヲ為シ山林地方ヲ估價シ又其年々増成シタ
ル部分ヲ估價シ山林ヲ實測シ又其年々増成
シタル部分ヲ實測シ山林ノ徑路ヲ設ケル等
ノ如キ諸ノ管理方ヲ云フ)實地ニ研究スル

免ムルナリ斯ノ如ク
近隣 山林地

方中学科研究ノ為メ特ニ必要ナル者ハ則チ

本校ニ附属シテ校長ノ督轄ニ皈ス此定日ノ

遊行ニ加フルニ又時トシテハ更ニ数日ヲ消

シテ近鄰ノ山林ニ遊行スルヲアリ蓋シ其目

的ハ各地方局所ニ異ナルノ諸件ヲ詳ニシ一

ハ本校ニ附属セル山林地方ニ比類ナキ山林

ノ方(例ヘハ定寸ヨリ低キ穉樹ノ森)ハチ中木

ノ林ヲ高木ノ林(即チ大木ノ森)ニ変シ又丘陵

ノ上ニ樹ツ松柏林ヲ去フヲ明ニスルニ在

又毎年夏候ニ當リテハアイゼナクノ林中畝

宜ノ部分ニ行フ可キ為メ特種作業ノ雛形ヲ

設ケ之ニ該山林ニ属スル實地豫業ニシ甚タ

許多ノ時日ヲ費スガ如キ測量ノハ之ニ除

クヲ記入シ就中此作業ト相共ニ山林ノ沽價

方及ニ管理方ヲ説明ス即チ此等ノ作業ヲ研

究スルノ間ハ暫ラク教授ヲ休業ス

又夏候ノ間別ニ毎週一タヲ以テ博物理学(殊

ニ植物学地質学ヲ去フ)ニ属スル諸事ヲ実験

スルノ遊行ニ供ス即チアイゼナク近鄰ニハ

此実験ヲ用ヒテ大ニ学問上ノ益ヲ得ルノ地
ヲシ又時トシテハ四日間ヲ費シ以テツ
テア山林ノ昆モ切要ナル部分ニ遊行スル
アリ

其三 冬候ニ於テ毎週ニ夕^{ヲ以テ}ヲ数学ノ演
習ニ供シニ夕^{ヲ以テ}制図術ノ演習ニ供シ^右蓋シ冬
候ノ間山林ノ遊行ハ殊ニ伐木ニシテル地ニ
之ヲ限リ而シテ此遊行ノ為メニ配^{シタル}
^日ハ輒チ化学、物理学ノ試験并ニ植物、礦物等
分類方ノ試験ニ供スルノ制ナリ

